



お知らせ

R5.11.1

道路建設課

八幡浜土木事務所

大洲・八幡浜自動車道「八幡浜道路」開通半年後の 交通状況について

令和5年3月25日（土）に開通した「八幡浜道路」の開通半年後の交通状況をお知らせします。

交通量	<ul style="list-style-type: none">・八幡浜道路の交通量は約5,600台/日。並行する現道と合わせた断面交通量の約3～4割を占める。・並行現道の交通量は開通前より最大で約3割、5千台/日減少。
渋滞状況	<ul style="list-style-type: none">・八幡浜市内中心部の江戸岡交差点では、渋滞長が全方向で短くなるなど、八幡浜道路開通により渋滞が大きく緩和。
所要時間	<ul style="list-style-type: none">・八幡浜東ICから保内ICまでの所要時間が、最大9分短縮。・所要時間の変動が縮小し、定時性の確保に寄与。・迅速な救急搬送に大きく貢献。

※今後も引き続き調査を行い、効果を検証する予定です。

○大洲・八幡浜自動車道の映像データの提供について

掲載先：

大洲・八幡浜自動車道 Facebook

URL: <https://www.facebook.com/bigeight.highway/>

八幡浜土木事務所 Instagram

URL: <https://www.instagram.com/yawatahamadoboku.ehime/>

QRコード



Facebook



Instagram

担当・問い合わせ先

【事業全般に関すること】

・土木部道路建設課

電話：089-912-2710

【工事の内容、現地取材に関すること】

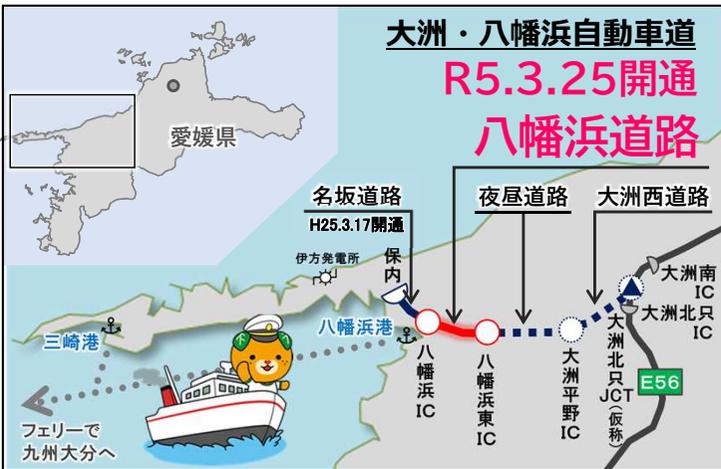
・八幡浜土木事務所 大洲・八幡浜自動車道建設課 電話：0894-22-4111(代表)

大洲・八幡浜自動車道「八幡浜道路」の概要

《 八幡浜道路 》平成17年度の事業着手から18年の歳月を経て、令和5年3月25日に開通

- **大洲・八幡浜自動車道**は、四国の西の玄関口である愛媛県の八西地域（愛媛県八幡浜市、伊方町）と大洲市を結び、四国8の字ネットワークに接続する**自動車専用**の**高規格道路**です。
- フェリー航路を介して九州と四国、そして本州をつなぐ「**新たな国土軸**」の一翼を担うとともに、「**地方創生の道**」、「**命の道**」として、人口減少の進行やコロナ禍を経た社会の変化など時代の岐路に立つ今、新時代の国土・地域づくりへの架け橋となる重要な道路です。
- 「**八幡浜道路**」は、本自動車道の一部であり、平成25年3月に開通した名坂道路と共に、**地域間交流の促進や物流の効率化**などが期待されています。

《位置図》



《大洲・八幡浜自動車道の概要》



《八幡浜道路の概要》

路線名	一般国道197号 <small>やわたはま</small> 八幡浜道路
区間	<small>やわたはま</small> 起点：愛媛県八幡浜市郷（八幡浜東IC） <small>やわたはま</small> 終点：愛媛県八幡浜市大平（八幡浜IC）
延長	3.8 km
道路規格	第3種第3級（自動車専用道路） 設計速度60 km/h（2車線） 標準幅員6.0（9.0）m

起点	本州ルート	四国ルート
大分	約651km 約7.8時間	約426km 約8.2時間
宮崎	約849km 約10.7時間	約573km 約10.4時間
鹿児島	約873km 約10.0時間	約725km 約12.2時間

※1 各県庁所在地から中国吹田ICまで。
※2 四国ルートの航路は「八幡浜港～臼杵港」。移動時間はフェリー乗船時間（145分）を含む。

八幡浜ICの状況 (R5.8.4)

至 保内IC

至 八幡浜東IC

フェリー航路 36往復/日

- ・八幡浜-別府 6往復/日
- ・八幡浜-臼杵 14往復/日
- ・三崎-佐賀関 16往復/日

※1: 東九州自動車道（北九州市～宮崎市）H28.4開通
 ※2: フェリー大型化対応岸壁（耐震）八幡浜港R4.4供用、臼杵港整備中
 ※3: 中九州横断道路整備中

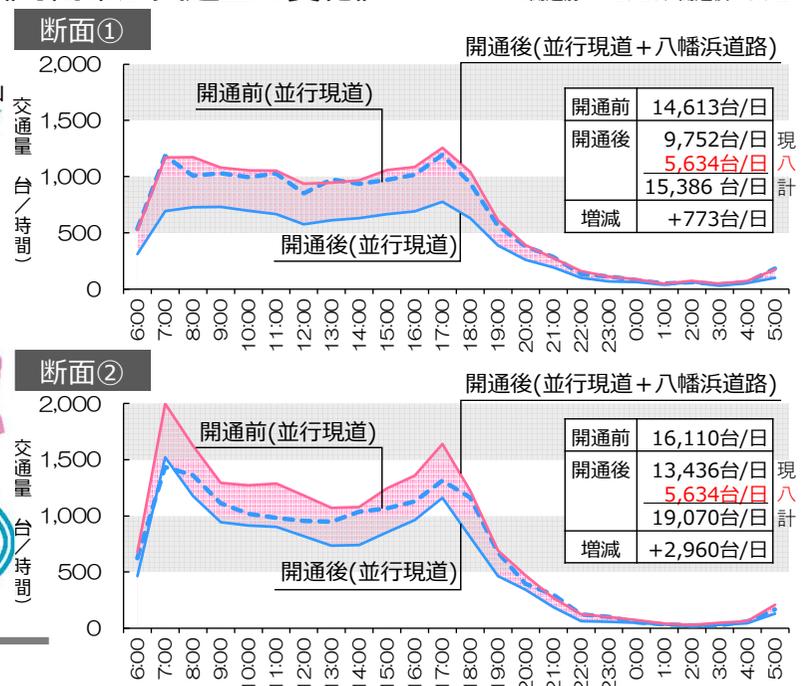
八幡浜道路開通半年後の交通状況 《交通量の変化》

- **八幡浜道路**の交通量は約5,600台/日。並行する現道と合わせた断面交通量の約3~4割を占める。
- **並行現道**の交通量は開通前より最大で約3割、5千台/日減少。

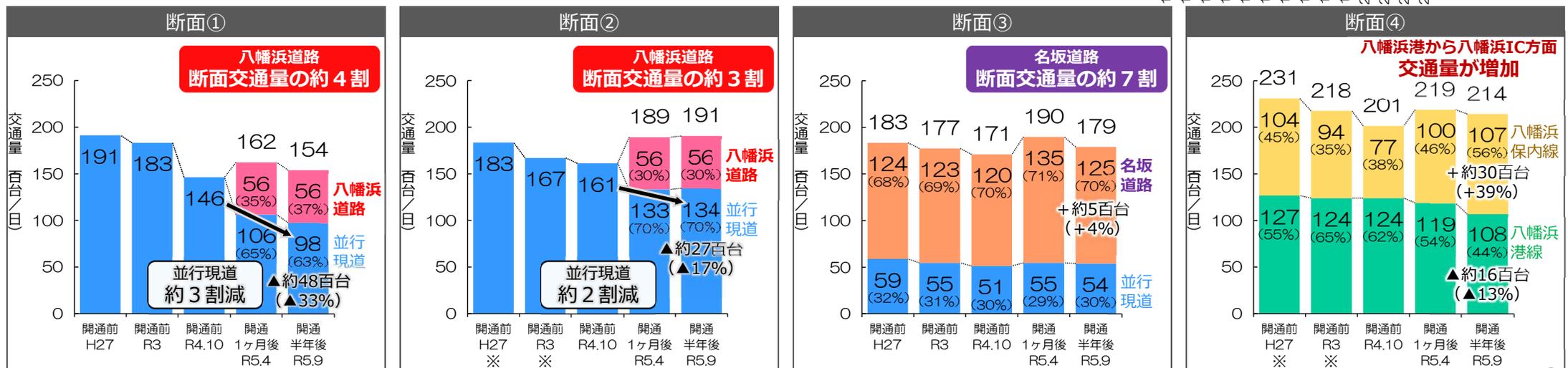
《平面図》



《時間帯別交通量の変化》



《日交通量の変化 (平日)》



(資料) 交通量調査結果 開通前：全国道路・街路交通情勢調査結果 (H27、R3)、交通量調査結果 (R4.10.26 6:00~翌6:00) ※12時間調査値に24時間交通量調査を行った区間の昼夜率を乗じて日交通量を算出
開通後：交通量調査結果 (R5.4.28 6:00~翌6:00、R5.9.27 6:00~翌6:00)

八幡浜道路開通半年後の交通状況 《渋滞状況の変化》

■八幡浜市内中心部の江戸岡交差点では、渋滞長が全方向で短くなるなど、八幡浜道路開通により渋滞が大きく緩和。

《夕方ピーク時の江戸岡交差点の状況》（交差点から東（大洲）方面を撮影）



R4.10.26 (水)17時台
(主要渋滞箇所)



R5.9.27 (水)17時台

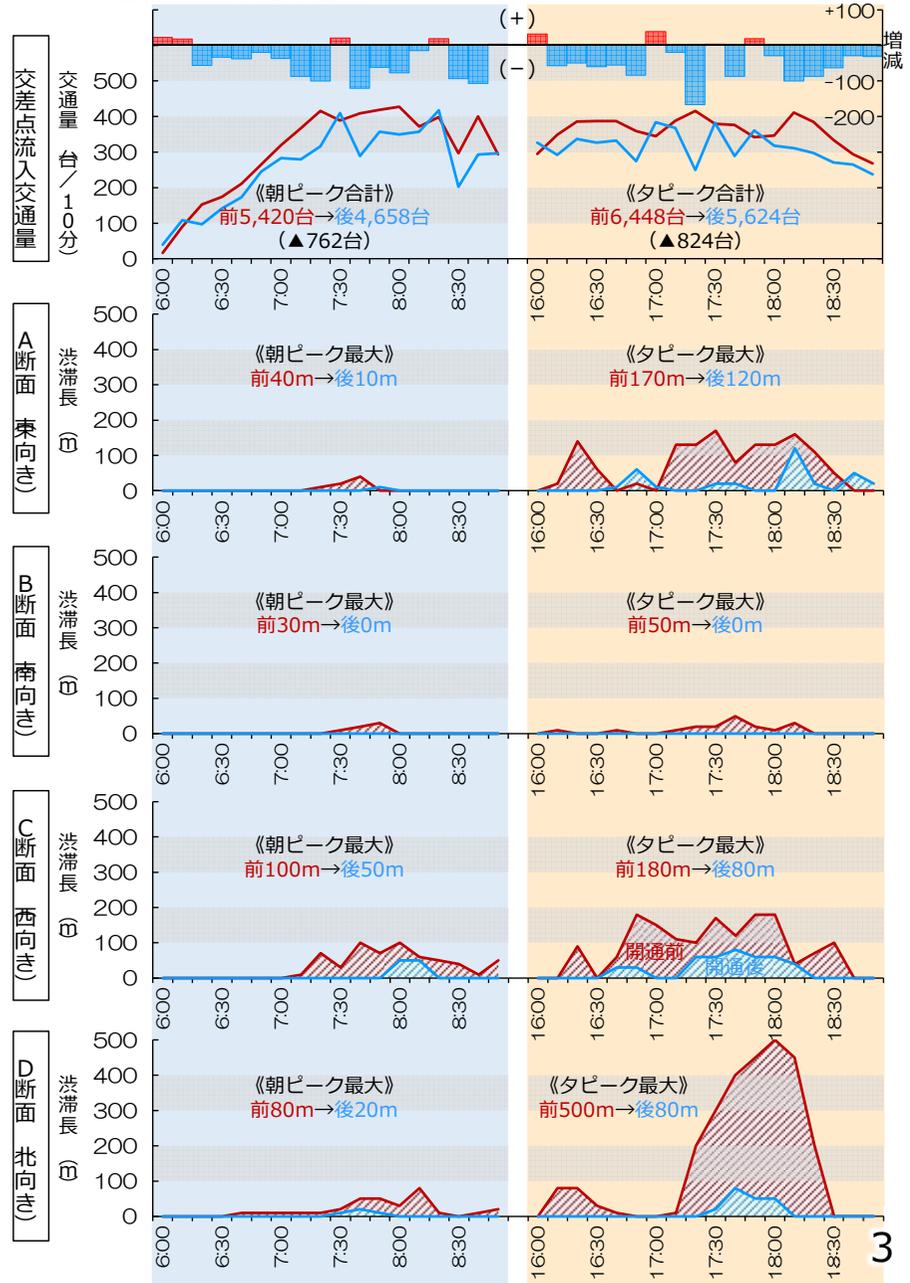
《江戸岡交差点の最大渋滞長の変化》

(資料) 渋滞長調査結果 開通前R4.10.26、開通後R5.9.27
※渋滞長：1回の信号待ちで通過できずに残っている車列の長さ



《時間帯別の交差点流入交通量と渋滞長の変化》 開通前R4.10.26 開通後R5.9.27

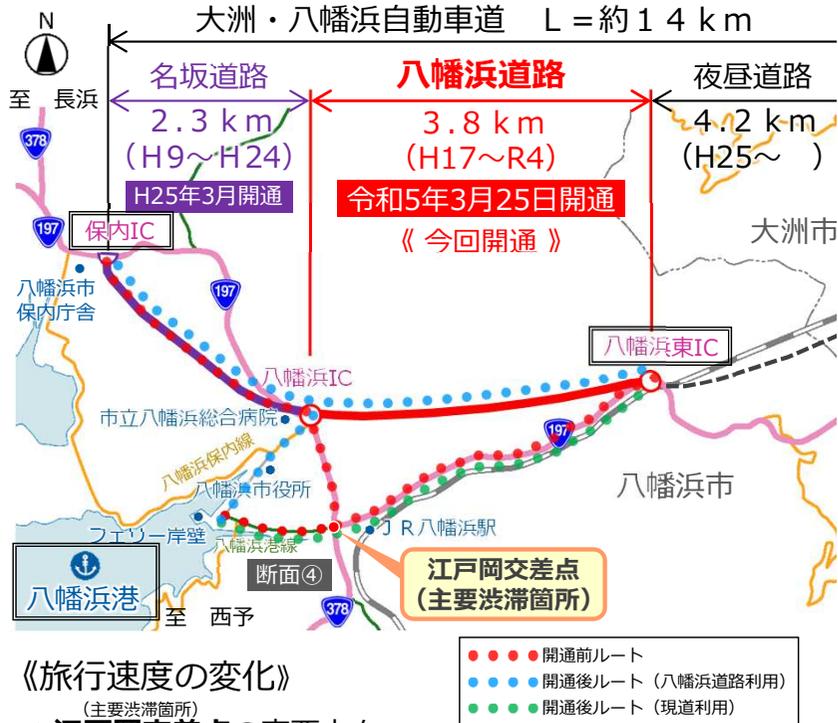
※グラフの渋滞長は各断面の時間毎の最大値



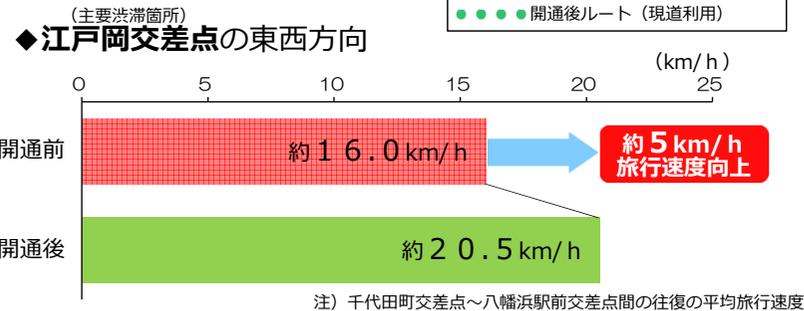
八幡浜道路開通半年後の交通状況 《所要時間、旅行速度の変化》

- 八幡浜東ICから保内ICまでの**所要時間**が、**最大9分短縮**。江戸岡交差点付近では、**現道の旅行速度が約5 km/h向上**。
- **所要時間の変動が縮小**し、定時性の確保に寄与。迅速な救急搬送に大きく貢献。

《平面図》



《旅行速度の変化》



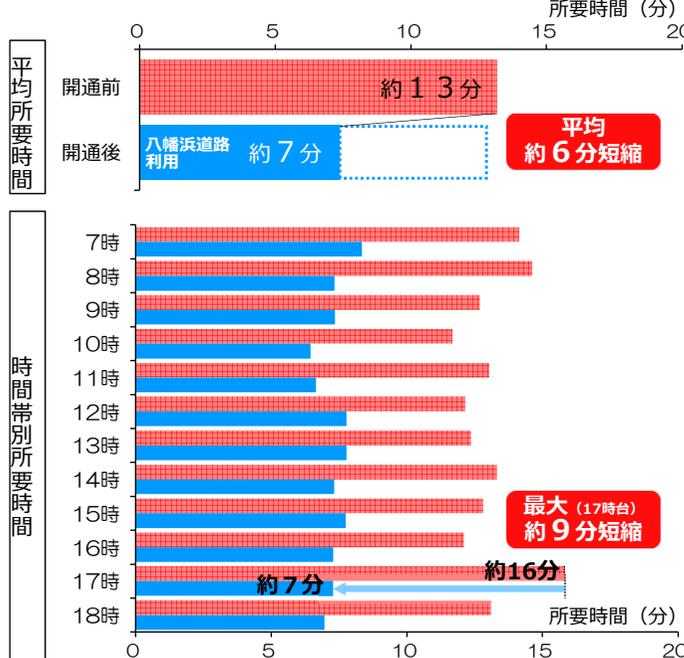
《消防関係者の声》

大洲・松山方面へ救急搬送する場合は、**八幡浜道路** 経由がほぼ定着しており、**医療機関までの搬送時間短縮**のほか、現道に比べ線形がよいため揺れ等が少なく**傷病者の負担軽減**につながっています。

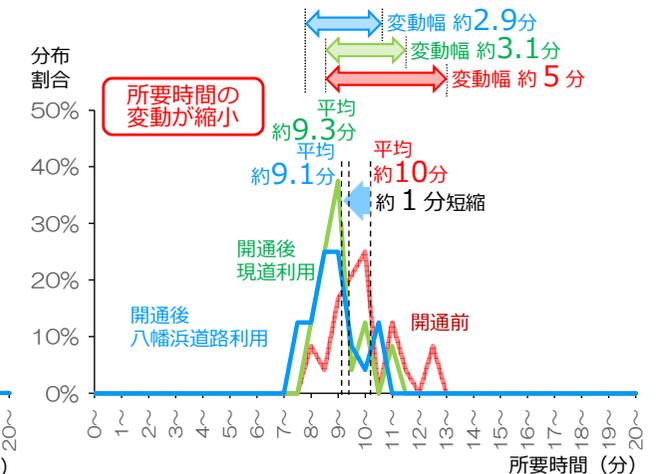
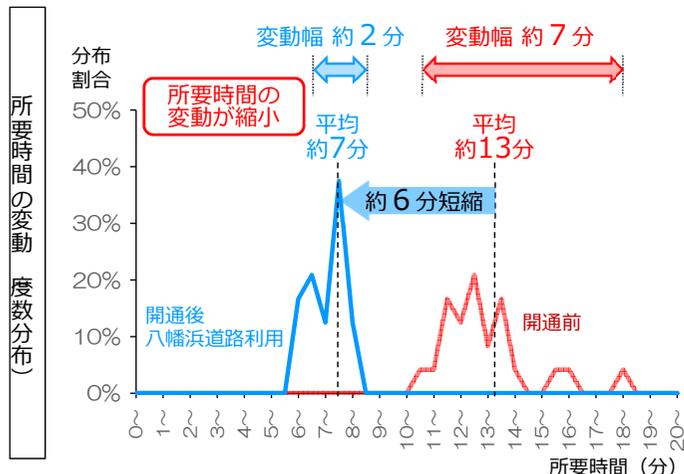
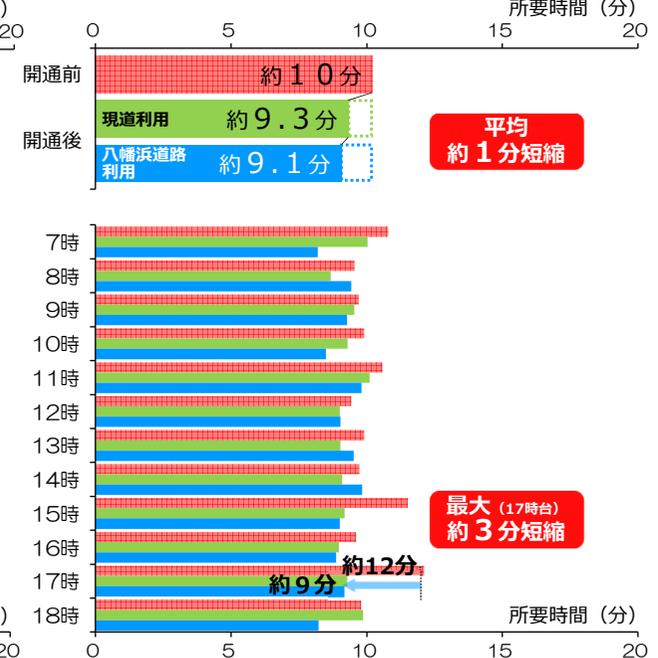
(資料) 八幡浜地区施設事務組合消防本部ヒアリング調査 (R5.10)

《所要時間の変化》

◆八幡浜東IC～保内IC



◆八幡浜東IC～八幡浜港



(資料) 走行調査結果 ※時間帯別に1往復実走行により計測
 開通前: R4.10.12、10.13 7:00~18:00、開通後: R5.9.20 7:00~18:00

注) 所要時間: 往復の平均所要時間
 所要時間の変動: 往路、復路それぞれの所要時間を0.5分毎に区切った度数分布